

AR技術で水害の恐ろしさを体験！

～甲賀市総合防災訓練で浸水体験、流域治水のPRを実施しました！～

R7. 12. 3

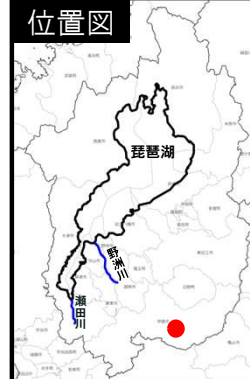
- 琵琶湖河川事務所では、流域治水の普及・推進や水害リスクの自分事化を目的に「令和7年度 甲賀市総合防災訓練」にてAR技術による浸水体験のPRを実施しました。天候も良く、約90組の方にご参加いただきました。
- また、瀬田川・大戸川流域や野洲川流域での流域治水の取り組みや流域治水の考え方をパネル展示によりPRしました。
- 浸水体験の参加者を対象に、体験の感想についてアンケートをとりましたが、ほとんどの方から流域治水の関心や理解が高まったとご回答いただきました。

- 日時: 令和7年11月16日(日)9:30～14:00
- 会場: 鹿深夢の森(甲賀市)
- 主催: 甲賀市
- イベント参加者: 約500人



アンケート

浸水AR体験 良かった:93.5%
「水害時の避難」への関心や理解 高まった:94.4%
「流域治水」への関心や理解 高まった:89.3%



位置図



流域治水広報パネルの展示



AR技術による浸水体験



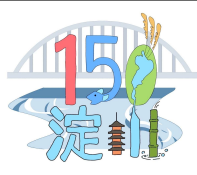
※イメージ画像



びわ湖放送の取材を受けました！

<参加者の感想>

- ・水が濁っていると足元が見えず、避難時に水路や段差に気づきにくいいため、危険なことがわかった。
- ・浸水が発生している状況で子供を連れて逃げることはできないと思った。浸水する前に逃げる必要がある。
- ・家に帰ってハザードマップをもう一度確認したい。
- ・訓練に参加することや水害時に避難することも流域治水だということがわかった。
- ・流域治水という言葉は聞いたことがなかったが、水路の清掃など、自分たちにもできることがあることがわかった。



国土交通省 近畿地方整備局
琵琶湖河川事務所 流域治水課
〒520-2279 大津市黒津4-5-1
TEL 077-546-0867

